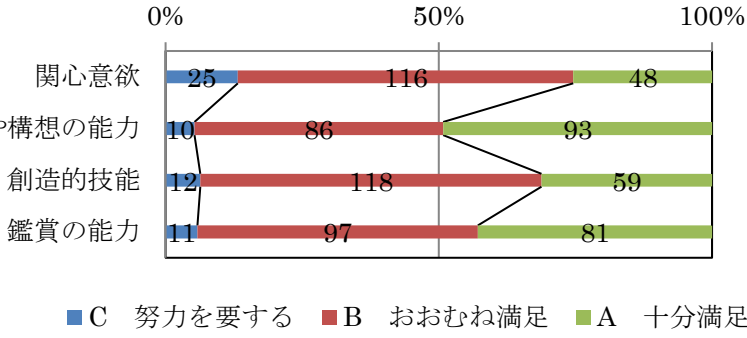
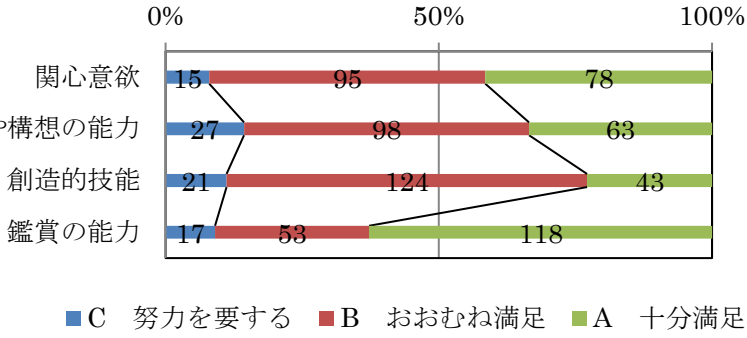
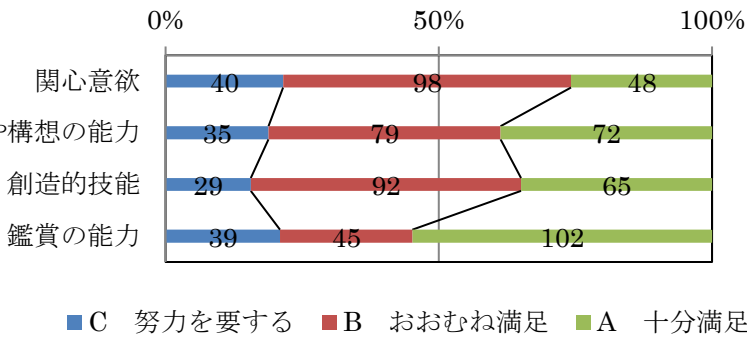


令和元年度 授業改善推進プラン

調布中学校

教科 美術	重点目標 <ul style="list-style-type: none"> ・感性や想像力を働かせた、独創的で豊かな発想を育む。 ・創造的なよさや美しさを感じとり味わう（鑑賞する力）を高める。
学習指導に関する現状と課題（1学期の評価より）	
<p>1年</p>  <p>■ C 努力を要する ■ B おおむね満足 ■ A 十分満足</p>	<p>改善策 題材や課題ごとに知識の習得に繋がるようなプリントを用意し、生徒が見返して授業での内容を理解できるようにする。</p>
<p>課題 関心意欲は知識理解の分野も入っているので、技能の習得を知識面からも習得できるような工夫をする。</p>	<p>検証 課題を理解して進めていたことからプリントが題材の取り組みに役立った。技能の習得と各自の発想や工夫がうまく連動して制作に取り組んでいた。</p>
<p>2年</p>  <p>■ C 努力を要する ■ B おおむね満足 ■ A 十分満足</p>	<p>改善策 発想構想では思考ツールを使った展開を2学期以降も取り入れていく。創造的スキルは作品例を例示する事と個別指導の充実を図る。</p>
<p>課題 鑑賞の能力が高く、互いの作品から刺激を受けて学ぶことができる。発想構想や創造的スキルでは生徒の実態に即した工夫が必要である。</p>	<p>検証 思考ツールは発想の面で役立ったが、鑑賞でも使えそうである。革工芸では個別指導の充実と生徒同士の教えあい、学びあいが活発に行われた。鑑賞は知的好奇心と合致したことで、生徒作品が良かったことが結果に繋がった。</p>
<p>3年</p>  <p>■ C 努力を要する ■ B おおむね満足 ■ A 十分満足</p>	<p>改善策 発想構想では思考ツールを使った展開を2学期以降も取り入れていく。課題の理解が深まるプリントを作り、関心意欲の面につながるようにする。</p>
<p>課題 鑑賞の能力が高く、互いの作品から刺激を受けて学ぶことができる。関心意欲と発想構想の能力の底上げを図る。</p>	<p>検証 発想ではプリントの思考ツールよりも各自のアイデアの出し方で進んでいた。革工芸では個別指導の充実と生徒同士の教えあい、学びあいが2学年よりも自然に行われていた。</p>